

尾形光琳筆「風神雷神図屏風」復元複製里帰りプロジェクト

活動報告書



目 次

プロジェクト運営一覧・プロジェクトの概要・プロジェクトサポート	1
支援者リスト・プロジェクト決算報告	2
プロジェクト賛同人一覧・賛同人代表のことば	3
複製屏風完成写真	4
工程写真	5
里帰り展示と関連イベント	8
基金商品の紹介	11
メディア掲載	12
関連印刷物の紹介	15
謝 辞	17

琳派400年記念祭賛同企画

尾形光琳筆「風神雷神図」・酒井抱一筆「夏秋草図」屏風コロタイプ復元複製里帰りプロジェクト

プロジェクト運営一覧

運営 = 尾形光琳筆「風神雷神図」復元複製里帰り実行委員会

代表理事：鈴木 巧 (株式会社 便利堂)

実行委員：荒木 かおり (有限会社 川面美術研究所)

大入 達男 (株式会社 大入)

事務局：株式会社 便利堂内

協力 = 東京国立博物館

後援 = コロタイプ技術の保存と印刷文化を考える会

プロジェクトの概要

この二つの屏風は、今は別々の作品に仕立てられています。もとは一つの屏風の表と裏でした。光琳と抱一が活躍した時代には100年の隔りがありますが、光琳に私淑した抱一が光琳の代表作「風神雷神図」の裏面に敬意を込めて表現した渾身の作が「夏秋草図」です。本プロジェクトは、すでに複製が完成している「夏秋草図」と、今回新たに制作する「風神雷神図」によって両面に描かれていた元の姿を再現し、京都に里帰りさせることを目的として立ち上げました。複製技法は京の伝統技術「コロタイプ」を用いました。文化の普及・教育、そして精巧な写しを制作し、後世に遺していくことの大切さを一人でも多くの方にご理解ご賛同いただくために、プロジェクトの支援という形でご参加をお願いしました。完成した屏風は京都に寄贈され、京都府等の公共施設で展示公開されるなど、様々な活動にご利用いただけます。本プロジェクトは「琳派400年記念祭プラットフォーム事業」として有識者の先生方のご賛同をいただき、《尾形光琳筆「風神雷神図」復元複製里帰り実行委員会》が運営しました。また、所蔵元である東京国立博物館のご協力と、各方面からのご協賛・ご後援をいただき推進しました。

プロジェクトサポート

サポートいただいた基金は、復元複製の製作費ならびに完成後の公開、活用に充てさせていただきました。

支援金目標金額 = 10,000,000円

支援金募集期間 = 平成27年5月15日～平成28年3月31日

支援金総額 = 2,448,735円

ご支援の方法は下記の3種類をご用意しました。

①支援金 1口1,000円

支援者名を公式サイト上に掲示。芳名録を複製とともに永久保存。

100,000円以上の支援者に記念品「風神雷神図」「夏秋草図」縮小屏風の贈呈。

②基金商品の購入による支援

ご購入いただいた商品の売上一部を基金に。

③京都便利堂カードポイントによる支援

支援者リスト(70名)

一音院 臨海院 池田榮然 河野元昭 鳥尾新 佐野みどり 中村堯子 中村興二 山尾滋子 中千鶴留
 正木博 京都市中京区弁財天町町内会 近島哲男 大倉宗二郎 鈴木喜志子 和多田印刷株式会社
 杉本まゆ子 沼野芳徳 関口正之 株式会社 サンエムカラー 岩倉直幸 森雅樹 寺井和枝 藤岡篤弘
 西田良男 西田京子 西岡淳雄 小寺康伸 有限会社 伏見紙技 上村哲弘 小倉一人 田窪政博
 成田和彦 藤井信次 清水保彦 北川建吉 佐藤道信 川田様之助 長尾和子 森田りえ子 三輪時子
 三輪純子 根立明 天正美千子 有限会社 川面美術研究所 高崎恒子 藤澤由季 水田好昭 島田豊司
 吉田益造 小鮎一明 三星インキ株式会社 中村隆次 山下雪美 株式会社 エムオーエー商事
 税理士法人エクサ 加藤慎一 玉越清伴 西山晃央 三好貴紀 三好幸子 櫻井利夫 櫻井雅俊
 長沼雅子 木村貢 京都美術化工株式会社 安田和弥 久山喜昭 YSPS研究所・瀬岡良雄 森下真弓
 日本生命保険相互会社

※支援金受取り順、敬称略

プロジェクト決算報告

(単位:円)

収入	
◎支援金総額	2,448,735
◎株式会社 便利堂負担額	7,900,931
合計	10,349,666

支出	
◎製作費	9,124,573 (A)
コロタイプ複製	6,053,363
手彩色補彩	1,320,000
屏風仕立て	1,645,000
諸経費	106,210
◎印刷物製作費	913,043 (B)
支援金ポスター	64,800
支援金チラシ	560,649
文化博物館チラシ	103,975
文化博物館ワークショップチラシ	13,239
建仁寺チラシ	106,851
東京美術倶楽部はがき	63,529
◎イベント経費	75,000 (C)
ワークショップ	40,000
講演会	35,000
◎複製展示経費	190,000 (D)
国際会館搬入・搬出	20,000
京都文化博物館搬入・搬出	30,000
建仁寺搬入・搬出	20,000
東京美術倶楽部搬入・搬出	120,000
◎報告書印刷費	47,050 (E)
(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	10,349,666

※全て税込金額

プロジェクト賛同人一覧

賛同人代表

小林 忠(学習院大学名誉教授・岡田美術館館長)

賛同人

有賀 祥隆 (東北大学名誉教授)	板倉 聖哲 (東京大学大学院教授)
榊原 吉郎 (京都市立芸術大学名誉教授)	佐藤 道信 (東京藝術大学教授)
佐藤 康宏 (東京大学大学院教授)	佐野 みどり (学習院大学教授)
島尾 新 (学習院大学教授)	清水 眞澄 (三井記念美術館館長)
下出 祐太郎(蒔絵師・京都産業大学教授)	関口 正之 (遠山記念館館長)
並木 誠士 (京都工芸繊維大学大学院教授)	細見 良行 (細見美術館館長)
森 清範 (清水寺貫主)	森田 りえ子 (日本画家)
吉澤 健吉 (京都産業大学教授)	冷泉 為人 (冷泉家時雨亭文庫理事長)

※五十音順、敬称略

賛同人代表のこぼ

尾形光琳筆「風神雷神図屏風」・酒井抱一筆「夏秋草図屏風」復元複製里帰りプロジェクトに寄せて

琳派の巨匠、尾形光琳が描いた「風神雷神図屏風」は、光琳が俵屋宗達の代表作を模写したもので、光琳独特の力強い描線と明快な色使いが遺憾なく発揮された、模写にとどまらない創造的な作品となっています。宗達が遺した記念的な傑作にあえて挑戦した光琳には、京都の先輩画家宗達に対して強い憧れと尊崇の念とがあったに相違ありません。

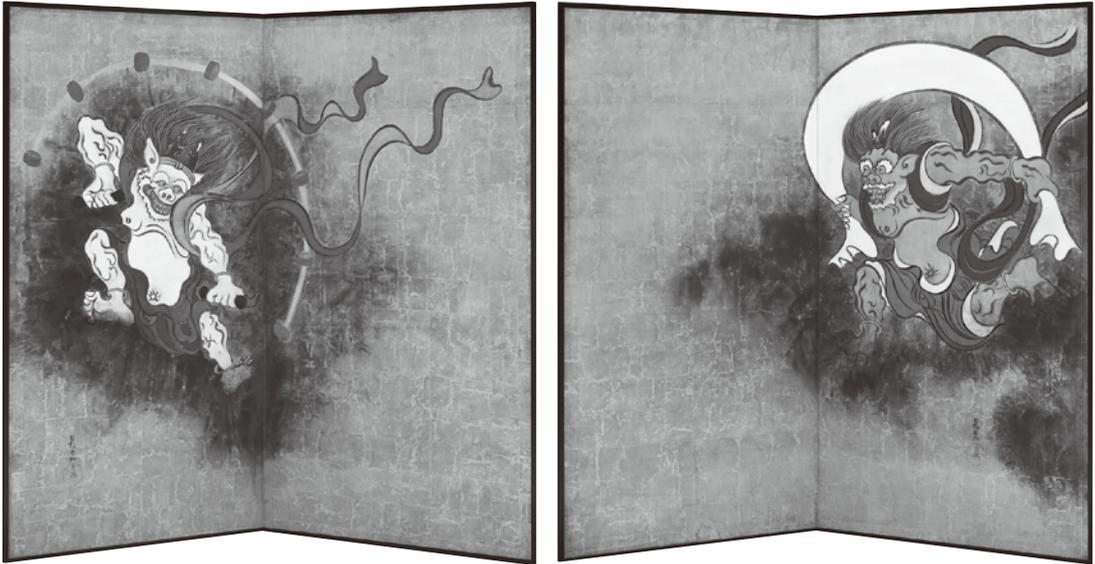
そして、それから約100年後、江戸の画家酒井抱一は、光琳画の真裏に「夏秋草図」を描きました。二曲一双屏風の裏面に、表の天空に対して地上の自然、金地に対峙する神々の激しい動きに対して銀地に配された夏秋草のしなやかな繊細さ、そうした粋な対照を瀟洒に表現した抱一の最高傑作であり、江戸琳派芸術の頂点をなす作品を結実させました。抱一が光琳の風神雷神図の真裏に渾身の絵筆をとったということは、宗達以来の琳派の系譜をしっかりと受け継ぎ、自らの手で次なる段階へ展開させようとする、明確な自覚が確立していたように思われます。

原本保存の為に、現在は別々の一双屏風に改装されているオリジナル作品が、再びもとの姿に戻されることはないでしょう。この二つの屏風が、現代の精巧な複製技術によって、描かれた当時の姿、表裏一体の屏風に復元される。それは、単なる形態の再現に留まらず、光琳が宗達に、抱一が光琳に対して抱いた、それぞれの熱い憧れの念をも甦らせることになるでしょう。

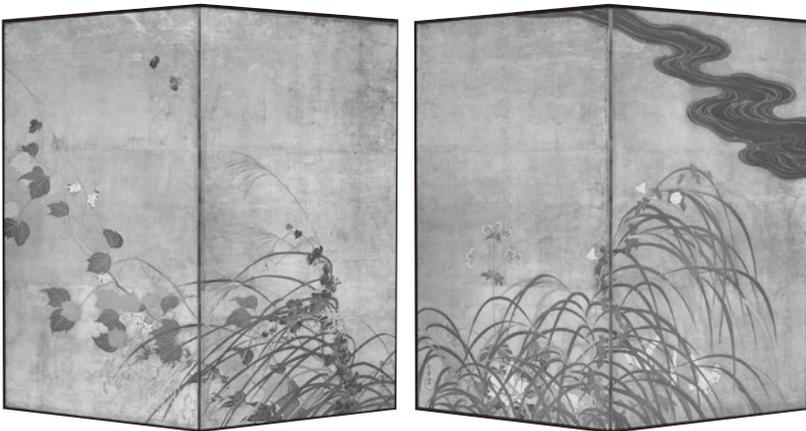
私が東京国立博物館の若き学芸員であった頃、表裏が分かれる前の屏風を苦勞して展示した思い出もあり、当プロジェクトに対しては特別な感慨を抱いています。光琳の「風神雷神図屏風」は京都で描かれました。国の重要文化財に指定されている原本が東京に保存されている今、この復元された屏風画が琳派400年の記念の年に京都に里帰りする。文化財を複製することの素晴らしい意義が、まさに証明される快挙と言えましょう。このプロジェクトを契機に、「複製づくり」の大切さが改めて評価され、さらには一人でも多くの方々が見聞の魅力を再認識していただけるであろうことを、心から願ってやみません。

学習院大学名誉教授・岡田美術館館長 小林 忠

複製屏風完成写真 (カラー写真は表紙をご参照ください)



表面:尾形光琳筆「風神雷神図屏風」コロタイプ複製



裏面:酒井抱一筆「夏秋草図屏風」コロタイプ複製



屏風を収納する箱

平成二十八年寄贈

尾形光琳筆 風神雷神図屏風 酒井抱一筆 夏秋草図屏風 複製

ご芳名を記した和紙は蓋の裏に貼られて未永く保存されます

箱書き

工程写真 1

1. 製版

原本の撮影データをパソコンに取り込み、画面上で1色ごとのコロタイプ特色版を作成します。1色につき1版、適切な調子に整えたネガフィルムを作ります。「風神雷神図屏風」複製では、一曲を縦3段に3分割し、二曲一双全体で12紙継ぎ。1紙あたり平均4色から5色の版を作り、全部で50色のコロタイプ特色版を作りました。



2. 刷版

感光剤が含まれたゼラチンを特殊なガラス板に塗布しゼラチン版を作ります。磨ガラス状になった大きなガラス板(125mm×65mm)の上に液体状のゼラチンを垂らし、2人がかりで版を上下左右に振ります。ゼラチンを版全体にムラなく塗布するには熟練の技が必要とされています。



3. 校正刷

製版の終わった特色版からゼラチン版を作り、印刷機にかけて校正刷(試刷り)をおこないます。コロタイプの印刷機は1色刷の機械なので、木版画のように1枚の紙に1色1色刷り重ねて行きます。髪の毛1本の見当ずれ(色ずれ)も許されない、とても繊細な作業です。



4. 「風神雷神図屏風」の原本照合

原本所蔵先の東京国立博物館にて、校正刷(試刷り)の色がオリジナルの色を正確に表現できているかどうか確認します。便利堂の技術陣に加え、手彩色の補彩を担当する川面美術研究所の絵師も同行します。



於・東京国立博物館

工程写真 2

5. 本刷

原本照合の結果を踏まえ特色版の修正をおこなった後、いよいよ本刷りにかかります。大きなガラス板(125mm×65mm)=刷版を印刷機に設置し、墨色、地色と順番に刷り重ねます。インキは顔料が豊富に含まれたコロタイプ専用のインキです。インキの種類は約40色。ヘラやローラーを使って適切な色(特色)を作るべく、職人みずから手で練り込みます。紙は手漉きの和紙で、指先の感覚を使って1枚1枚手で差していきます。



版に湿し水を与える印刷技師



インキ練り作業



版にインキを入れる印刷技師



紙継ぎ部分の色合いを確認



紙(手漉き和紙)を機械に差す印刷助手

工程写真 3

6. 金箔貼 (写真なし)

完成したコロタイプの上に、今回の為に改良開発した特殊な技術による本金箔貼りを行い、原本同様の輝きを出します。

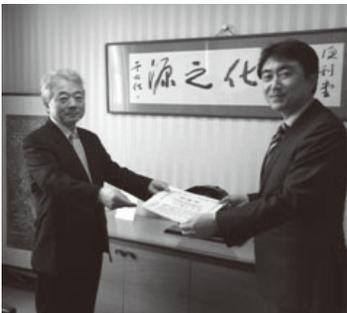
7. 補彩(有限会社 川面美術研究所)

刷り上がった本紙に、コロタイプ刷りを補う作業として手彩色による補彩を施します。



8. 屏風仕立て(株式会社 大入)

補彩作業が完了したら、両面屏風の仕立てに入ります。裏打ち、本紙継ぎなど、高度な京都伝統の技が発揮されます。

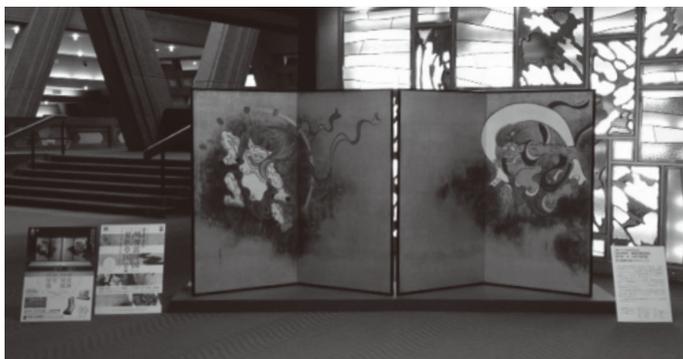


京都府立総合資料館(当時)、金田館長(左)より感謝状を受け取る鈴木代表理事(右)



感謝状

里帰り展示と関連イベント 1



琳派400年記念「古典の日フォーラム2015」の会場にて初披露

平成27年11月1日(日)

場所:国立京都国際会館



完成ならびに公開展示記者発表

平成27年11月2日(月)

場所:京都文化博物館2階コネクションホール

出席者:(京都文化博物館)神山俊昭副館長、森道彦学芸員

(実行委員会)鈴木巧代表理事、荒木かおり実行委員、大入達男実行委員

(報道機関)京都新聞社・読売新聞社・産経新聞社・毎日放送



京都文化博物館2階コネクションホールにて展示

平成27年11月3日(火)～12月6日(日) 入場無料

主催=尾形光琳筆「風神雷神図屏風」復元複製里帰り実行委員会

特別協力=京都文化博物館

里帰り展示と関連イベント 2

京都文化博物館記念講演会

平成27年11月14日(土)10:30~12:00

『京(みやこ)への里帰り 表裏一体屏風

光琳「風神雷神図」と抱一「夏秋草図』

講師:小林忠先生

(本プロジェクト賛同人代表/学習院大学名誉教授・岡田美術館館長)



文化博物館ワークショップ 1

「手刷りコロタイプで風神雷神を刷ってみよう!」

平成27年 9月5日(土)13:30~15:00

平成27年10月3日(土)13:30~15:00

手刷り体験用の小さな版を使って「風神雷神を図」を刷っていただきました。親子で体験された方が多数ありました。子供たちの生き生きした表情が印象的でした。



文化博物館ワークショップ 2

「両面屏風を作ってみよう!」

平成27年10月4日(日)13:30~15:00

表と裏が一体となったミニチュア屏風づくりのワークショップを開催しました。参加された皆さん、「屏風づくり」は初体験でしたが、初めてとは思えないくらい立派な出来栄となりました。



大本山建仁寺本坊大書院にて展示

平成28年1月16日(土)~1月31日(日)

拝観料:一般500円 中高生300円

主催=大本山建仁寺

尾形光琳筆「風神雷神図屏風」復元複製里帰り実行委員会

俵屋宗達筆の国宝「風神雷神図」の所蔵先である建仁寺の大書院にて、宗達「風神雷神図」の複製と本復元複製屏風を並べて展示いたしました。会期中、榊原吉郎先生にご講演いただき、寒さ厳しい日でしたが多くの方々に聴講いただきました。



大本山建仁寺記念講演会

平成28年1月24日(日)13:30~15:00

『風神雷神図屏風と夏秋草図屏風について』

講師:榊原吉郎先生(京都市立芸術大学名誉教授)



里帰り展示と関連イベント 3



東京美術倶楽部にて展示

平成28年2月23日(火)～3月10日(木) 入館無料



東京国際交流会館

独立行政法人日本学生支援機構・学習院大学主催のフォーラム「世界の中の日本美術—過去から未来へ—」にて展示

平成28年7月29日(金) 入館無料



富山・高岡市美術館

「美の記憶 よみがえる至宝たち 京都便利堂が護ったコロタイプ」展にて展示

平成28年9月16日(金)～10月23日(日)

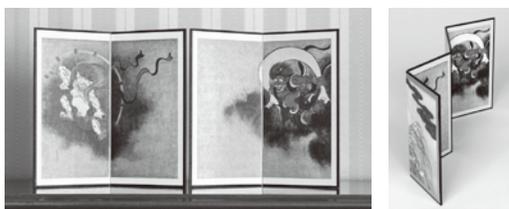
入館料:一般800円 高校・大学生500円 小・中学生200円



京都工芸繊維大学 美術工芸資料館にて展示

平成28年11月14日(月)～12月3日(土) 入館料:500円

基金商品の紹介



尾形光琳「風神雷神図」
酒井抱一「夏秋草図」両面縮小屏風
価格:12,000円(税別)



琳派400年記念頒布会
「琳派」四季の文具セット(年4回頒布)
価格:14,000円(税別)+送料
(写真は冬の回)



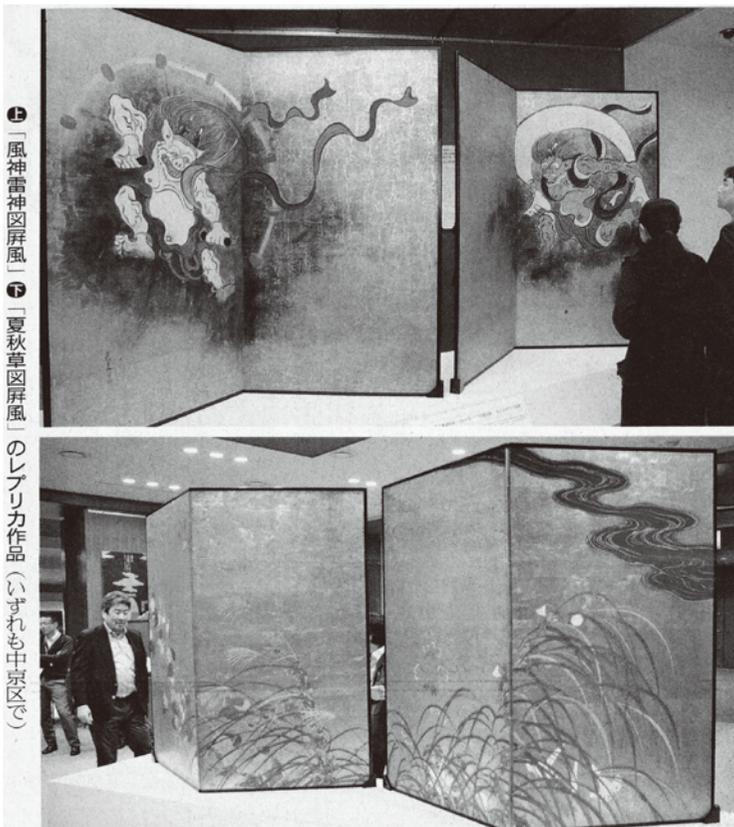
本阿弥光悦筆 俵屋宗達下絵
「鶴下絵三十六歌仙和歌巻」縮小絵巻物
価格:4,200円(税別)

WATADA PRINTING CO.,LTD.

いままでも、そしてこれからの100年も。

和多田印刷株式会社
www.watada.co.jp

本社：〒601-8034 京都市南区東九条南河辺町5番地 Tel 075-693-1001(代) Fax 075-681-0039
東京営業所：〒110-0016 東京都台東区東4丁目8番7号 友泉御徒町ビル5F Tel 03-5818-4271(代) Fax 03-5818-4274



①「風神雷神図屏風」②「夏秋草図屏風」のレプリカ作品（いずれも中京区で）

江戸時代の琳派を代表する画家、尾形光琳の「風神雷神図屏風」と、酒井抱一の「夏秋草図屏風」を、表裏一体の本来の姿で再現したレプリカ作品が完成し、3日から京都文化博物館（中京区）で公開される。12月6日まで。

「夏秋草図屏風」は、「風神

表裏一体 再び

中京、レプリカ公開

雷神図屏風の約100年後に裏面に描かれた。その後、作品保護のために切り離され、現在は別々に保存されている。

復元は、琳派誕生400年を記念し、美術工房「便利堂」（中京区）などが企画。実物を撮影したデータを機械で読み込み、ガラス板にネガを焼きつける技

術で、微妙な色遣いまで忠実に再現した。同館での一般公開後、建仁寺（東山区）などで展示され、来春には府に寄贈される予定。

開館は午前10時～午後7時半。月曜休館。問い合わせは、同館（075・2222・0888）。

読売新聞社提供



日本経済新聞社提供

平成27年10月19日 日本経済新聞

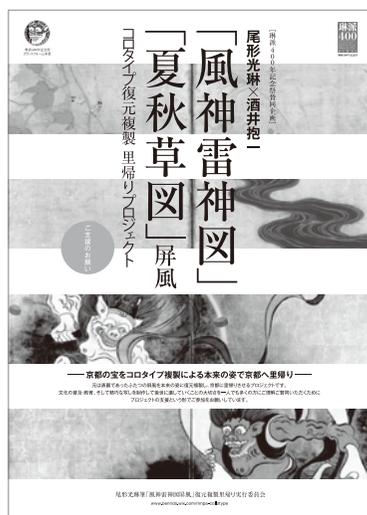
日付	記事内容	発行社名
平成27年 1月13日	風神雷神図屏風再現へ 精密コロタイプ印刷「迫力間近で」	京都新聞
8月27日	風神雷神と夏秋草、一対に コロタイプで復元	京都新聞
8月29日	風神雷神の屏風表裏一体複製へ 琳派400年、印刷会社など	朝日新聞
9月 1日	コロタイプ印刷で琳派の世界感じて 親子体験会	京都新聞
9月 6日	光琳の「風神雷神図」刷る コロタイプ印刷 親子ら30人挑戦	京都新聞
9月10日	「風神雷神図」複製里帰り 支援金のお願い 便利堂	京都商工会議所 冊子
9月18日	光琳と抱一 表裏一体で 風神雷神図夏秋草図 屏風が本来の姿に	中外日報
10月19日	風神再来 すごみ鮮明 コロタイプ印刷(京都市)	日本経済新聞
11月 3日	表裏一体 再び 中京、レプリカ公開	読売新聞
11月 3日	風神雷神 表裏一体 夏秋草 復元複製 文博、きょうから公開	京都新聞
11月 4日	尾形光琳「風神雷神」と 酒井抱一「夏秋草」表裏一体屏風の復元完了	産経新聞

“大切な人を想う”のいちばん近くで。

 **日本生命**
NISSAY

042-H28-283
【資料作成】日本生命保険相互会社 京都支社

関連印刷物の紹介 1



プロジェクト基金パンフレット



プロジェクト基金ポスター



印刷物特殊化工業
京都美術化工株式会社
http://www.kyoto-art.co.jp

謝 辞

本プロジェクトは平成27年5月中旬に支援金のお願いに始まり、平成28年5月に京都府へ寄贈するまで、ほぼ1年がかりの事業となりました。両面屏風の複製は平成27年6月に製版作業がスタートし、同年10月末に完成。屏風仕立ても含めて5ヶ月間という限られた期間で仕上げるため、便利堂のコロタイプ工房スタッフ、補彩を担当していただいた川面美術研究所の絵師の方々、屏風仕立てを担当していただいた株式会社大入の職人の方々、この三者の技術の結集により、非常に完成度の高い複製屏風が完成しました。

完成後は国立京都国際会館でのお披露目から、京都文化博物館、大本山建仁寺、東京美術倶楽部と3ヶ所で展示し、多くの方々にご観覧いただきました。またこの間、2回の講演会と3回のワークショップを開催し、いずれも盛況のうちに終えることができました。

予定されていた各所での展示やイベントが無事に終了し、平成28年5月31日、本委員会はこの完成した屏風を京都府へ寄贈いたしました。今後、完成した屏風は京都府等の公共施設で展示公開される予定です。展示や様々なイベントを通じて、日本文化の普及と教育、精巧な写しを制作し、後世に遺していくことの大切さを一人でも多くの方々にご理解いただけるなら、これ以上の喜びはありません。

このように無事に屏風の複製が完成し、様々なイベントが開催できましたのも、ひとえに皆様方のご支援の賜物です。心より厚く御礼申し上げます。ご支援いただいたほとんどの方々は、作り手である私たちが一度もお会いしたことのない方々でした。このように全く面識のない方々から多大なご厚志をいただけたことは、私たちが抱いていた志をご理解いただき、そして日本の文化を未来に伝えたいという皆様の熱い想いの顯れであると感じています。皆様方のご厚志は、きっと後世の人々に伝わるものと信じています。

お蔭をもちまして尾形光琳筆「風神雷神図」復元複製屏風は、屏風が描かれた地である京都に里帰りすることができました。光琳のアトリエがあったのは、今回の複製技法「コロタイプ」を行った便利堂本社の直ぐ近く、二条新町です。これも何かのご縁ではないかと感じています。これからも日本文化の担い手として、そして後世に日本文化の素晴らしさを伝える役目を背負って、たゆまぬ努力を続けてまいります。

尾形光琳筆「風神雷神図」復元複製里帰り実行委員会
代表理事：鈴木 巧

尾形光琳筆「風神雷神図」復元複製里帰りプロジェクト 活動報告書

発行日 平成29年2月15日

発行者 尾形光琳筆「風神雷神図」復元複製里帰り実行委員会
京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町302番地 株式会社便利堂内

印刷・製本 株式会社 便利堂

人から人へ

心の色を、鮮やかに伝える。



©ikawa AKIKO



株式会社

サンエムカラー

京都本社 / 東京支社
水道橋営業所 / 滋賀事業部

【本 社】

601-8371 京都市南区吉祥院嶋榎山町37
Tel.075-671-8458(直) Fax.075-671-0154 / info@sunm.co.jp

【東京支社】

101-0052 東京都千代田区神田小川町2-6-12東観小川町ビル3F
Tel.03-5217-1081(直) Fax.03-3219-7110



SANKYODO
KYOTO

株式会社 燦京堂

601-8371 京都市南区吉祥院嶋榎山町37
Tel.075-661-5661(直) Fax.075-671-0154

お見積・ご相談は、お電話又はwebから!

サンエムカラー



最新情報
発信中!



@sunMcolor